

「年齢別に見た女性の意識と行動調査'90」より

女性のアクティブ度調査

- ★「装う」「家事・家庭」「遊ぶ」「知識・教養」「健康」「食べる」「社会参加」「社会的関心」「買う」といった基本9アイテムで示されるような広い領域に関心を持つか否かで分類ができるような、質的な多様性が女性の中に確かに存在する。いかえれば、9アイテム全体に幅広い関心を有するアクティブな女性層が確かに存在すると言える。
- ★しかし、このような幅広い領域に関心をアクティブに示すには、社会的な知識とエネルギーと自由時間と経済的な余裕が必要である。
- ★このことは、社会的接点の少ない「16-18歳」や体力が比較的低い「60-65歳」にアクティブ度の高いオールラウンド派が少なく、時間、知識、エネルギー、経済的余裕が共にある「19-24歳」「44-59歳」にはオールラウンド派が多いことで裏付けられる。
- ★社会的知識もエネルギーもあるが、時間や経済的余裕に欠けがちな子育て期の「25-43歳」はアクティブ度が中間のバラエティー派が一番多い。
- ★アクティブ度の高い層の夫ほど家事を手伝う場合が多いことも、女性がアクティブであるために、家事のみに没頭しないですむ余裕が必須であることを物語っている。

1991/7/3
ポーラ文化研究所

(担当 久保田、高谷)

1. はじめに

本報告書は、「年齢別に見た男性の意識と行動調査' 89」で開発した「アクティブ度分析」に準じて、「年齢別に見た女性の意識と行動調査' 90」の中で女性を対象として活用するために開発した方法と結果の概要を紹介するものです。

2. 調査の目的と考え方

様々な意識や行動を調査対象者全体の平均として、いいかえれば調査対象者を均一なものとしてとらえるのではなく、調査対象者が異質で多様な人間集団からなること、そして個人の中にも重層的に多様な関心がありえるということを前提としました。また、その多様な関心こそが現代的なアクティビティの本質であるということを本調査の仮説として設定し、以下の方法で調査を実施いたしました。

女性の意識・行動を幅広くとらえ、新しい軸による女性のパターン化を試みる。

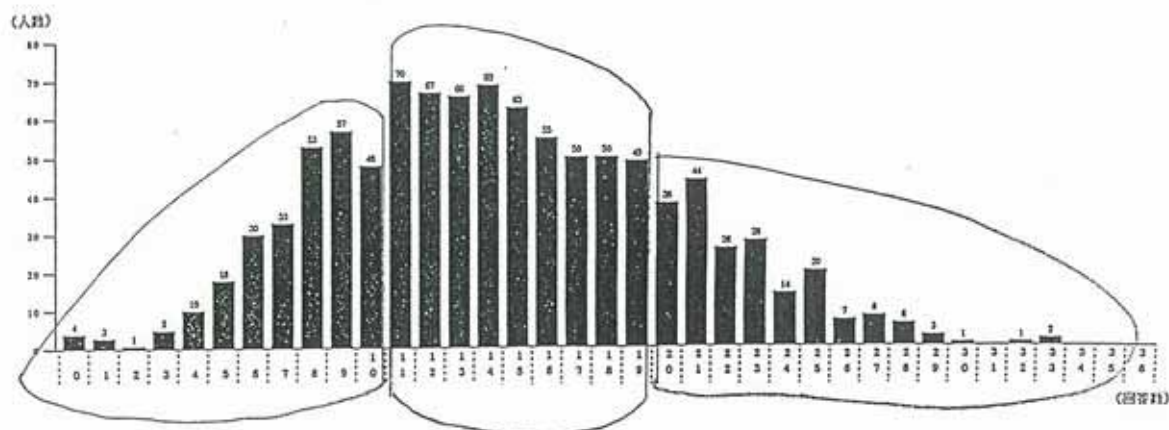
女性の生活行動を、できるだけカバーするために、アイテムとして、「装う」「家事・家庭」「遊ぶ」「知識・教養」「健康」「食べる」「社会参加」「社会的関心」「買う」を設定した。

次に、各項目ごとにそのアイテムをイメージするにふさわしい質問を4問ずつ策定(別表)

仮説

質問に対し、“はい”の回答数が多い女性ほど行動半径が広い。アクティブ度が高い。

3層に分けたグループ別に、その意識・行動の差を浮彫りにする。



3. 調査概要

*調査地域 首都圏30キロ圏内

*調査対象者（数）

上記地域内に居住する16歳から65歳までの女性1000人

*サンプルデザイン（人）

高校生	75
19-24歳・学生	75
19-24歳・社会人	75
25-29歳・未婚	75
25-29歳・既婚	75
30-34歳・既婚	75
35-39歳・既婚	75
30-39歳・未婚	100
40-43歳	100
44-49歳	100
50-59歳	100
60-65歳	75

*調査対象者抽出法

エリアサンプリング法

*調査方法

個別訪問面接聴取法、および留置法の併用

*調査期間

平成2年9月14日～10月1日

*アクティブ度分析の方法

アクティブ度36質問項目（別表）に「はい」「いいえ」で回答を得る

「はい」の回答数10以下（26.3%）をシンプル派、11～19（53.9%）をバラエティー派、20以上（19.8%）をオールラウンド派と名付ける

各グループ（派）の属性、意識、行動等を比較する

別表「アクティブ度質問項目」

「装う」

- | | | |
|-----------------------------|-------|--------|
| 1. ふだんイヤリングやピアスをしている | 1. はい | 2. いいえ |
| 2. 雑誌のファッション欄をよく見る | 1. はい | 2. いいえ |
| 3. ファッションについては自分のスタイルを持っている | 1. はい | 2. いいえ |
| 4. 色やデザインについて今の流行に気を配っている | 1. はい | 2. いいえ |

「家庭・家事」

- | | | |
|------------------------------|-------|--------|
| 5. 家の中の整理整頓ができています | 1. はい | 2. いいえ |
| 6. 夫や家族と一緒に行動することが多い | 1. はい | 2. いいえ |
| 7. 家計を計画的にやっている | 1. はい | 2. いいえ |
| 8. 家族のため料理のレパートリーを増やす努力をしている | 1. はい | 2. いいえ |

「知識・教養」

- | | | |
|------------------------|-------|--------|
| 9. 月に2冊以上単行本を読む | 1. はい | 2. いいえ |
| 10. 美術展や音楽会、観劇へよく行く | 1. はい | 2. いいえ |
| 11. 教養番組をよく見る | 1. はい | 2. いいえ |
| 12. 勉強会、カルチャー講座によく参加する | 1. はい | 2. いいえ |

「健康」

- | | | |
|----------------------|-------|--------|
| 13. 継続的にやっているスポーツがある | 1. はい | 2. いいえ |
| 14. 定期的に健康診断を受けている | 1. はい | 2. いいえ |
| 15. いつも熟睡できる | 1. はい | 2. いいえ |
| 16. 体力には年齢以上の自信がある | 1. はい | 2. いいえ |

「食べる」

- | | | |
|----------------------------------|-------|--------|
| 17. 旬のものをよく食べる | 1. はい | 2. いいえ |
| 18. 新聞・雑誌などの食べ歩き情報をよく利用する | 1. はい | 2. いいえ |
| 19. 珍しい食べ物や食べたことのない物を見つけたら買って食べる | 1. はい | 2. いいえ |
| 20. その土地ならではの食べ物を食べに行く | 1. はい | 2. いいえ |

「社会参加」

- | | | |
|-------------------------------|-------|--------|
| 21. 環境保護、リサイクル、福祉などの活動をしている | 1. はい | 2. いいえ |
| 22. P T Aや町内会などの地域活動をしている | 1. はい | 2. いいえ |
| 23. 職業を持っている | 1. はい | 2. いいえ |
| 24. ボランティア活動の世話役、リーダー的役割をしている | 1. はい | 2. いいえ |

「遊ぶ」

- | | | |
|-------------------------------|-------|--------|
| 25. 年に何回かは旅行している | 1. はい | 2. いいえ |
| 26. 女同士で酒を飲みに行くことがある | 1. はい | 2. いいえ |
| 27. 競馬やパチンコなどのギャンブルを楽しんだことがある | 1. はい | 2. いいえ |
| 28. デパートでウインドショッピングをよくする | 1. はい | 2. いいえ |

「社会的関心」

- | | | |
|------------------------|-------|--------|
| 29. 年代の違う同性の友人や男の友人がいる | 1. はい | 2. いいえ |
| 30. ワープロを使える | 1. はい | 2. いいえ |
| 31. 政治や社会の動きに関心がある | 1. はい | 2. いいえ |
| 32. 科学技術の動向に関心がある | 1. はい | 2. いいえ |

「買う」

- | | | |
|--|-------|--------|
| 33. 高額でも自分のほしいものはできるだけやりくりして買う | 1. はい | 2. いいえ |
| 34. 新しい商品や珍しいものは試しに買う | 1. はい | 2. いいえ |
| 35. 新しいものを買う時、価格だけではなく
性能などを比較し納得して買う | 1. はい | 2. いいえ |
| 36. これからの流行や新製品に敏感な方 | 1. はい | 2. いいえ |

4. 調査結果

4-1 アクティブ度と属性

●年齢

*年齢の一番低い「16-18歳」と、年齢の一番高い「60-65歳」の二つの層では、社会性が低いのかシンプル派が一番多い。その両者に隣接する、社会参加を開始しはじめの「19-24歳」と、子育ての負担が終了もしくは軽減して、まだまだ元気な「44-59歳」は逆にオールラウンド派が一番多い。中間の「25-43歳」は元気ざかりの年代であるが、子育て等の負担のためか一番多いのはバラエティー派である。

■年齢

	調査数	16-18歳	19-24歳	25-29歳	30-39歳	40-43歳	44-49歳	50-59歳	60-65歳
	1000	6.3	13.2	10.8	19.0	9.9	13.0	19.0	8.7
シンプル	263	12.4	7.1	11.7	18.8	5.7	11.4	18.8	14.1
バラエティー	539	4.7	14.0	10.3	20.6	12.0	12.5	18.3	7.5
オールラウンド	198	2.5	19.0	11.3	15.0	10.0	16.4	21.1	4.7

●世帯年収（税込み）

*800万円を境に、年収の多い層にアクティブ度の高い女性が増加する。

■世帯年収(税込)

	調査数	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	600万円未満	800万円未満	1000万円未満	1000万円以上	N
	1000	1.8	5.8	10.2	10.8	11.7	20.8	13.0	11.1	14.9
シンプル	263	1.0	6.8	11.7	12.6	9.3	17.6	11.3	10.3	19.4
バラエティー	539	1.5	5.0	10.7	12.2	13.2	21.3	12.7	9.4	14.0
オールラウンド	198	3.4	6.5	6.5	4.9	11.0	23.6	15.9	16.9	11.3

●こづかい

* 1万5千円を境に、こづかいの多い層にアクティブ度の高い女性が増加する。

■こづかい

	調査数	なし	3千円未満	5千円未満	1万円未満	1万5千円未満	2万円未満	2万5千円未満	3万円未満	4万円未満	5万円未満	10万円未満	10万円以上	N A
	1000	13.8	3.5	5.7	12.4	10.6	12.6	9.8	8.0	7.0	5.7	6.9	0.7	3.2
シンプル	263	26.0	6.3	8.1	17.5	6.6	8.4	4.1	6.0	3.0	5.1	2.5	-	6.4
バラエティ-	539	11.8	2.9	5.7	12.7	14.0	13.1	10.8	8.4	5.7	5.1	7.4	0.6	1.8
オールラウンド	198	3.3	1.5	2.6	4.8	6.6	17.0	14.5	9.8	15.8	8.2	11.2	1.7	3.0

●運転免許

*免許を持っている女性はオールラウンド派が多く、持っていない人はシンプル派が多い。

■免許・車

	調査数	車・免許共なし	免許有り車なし	車有り免許なし	車が使える機会 車・免許共あり	車をよく利用している
	1000	33.6	10.3	23.8	12.4	18.9
シンプル	263	39.9	6.6	28.3	9.0	16.2
バラエティ-	539	33.6	11.7	23.0	12.5	19.2
オールラウンド	198	25.1	11.6	20.3	16.5	26.4

●未既婚

*既婚者、離婚者ではアクティブ度による違いが見られないが、オールラウンド派に死別者が少なく、未婚者が多いという特徴が見られる。

■未・既婚

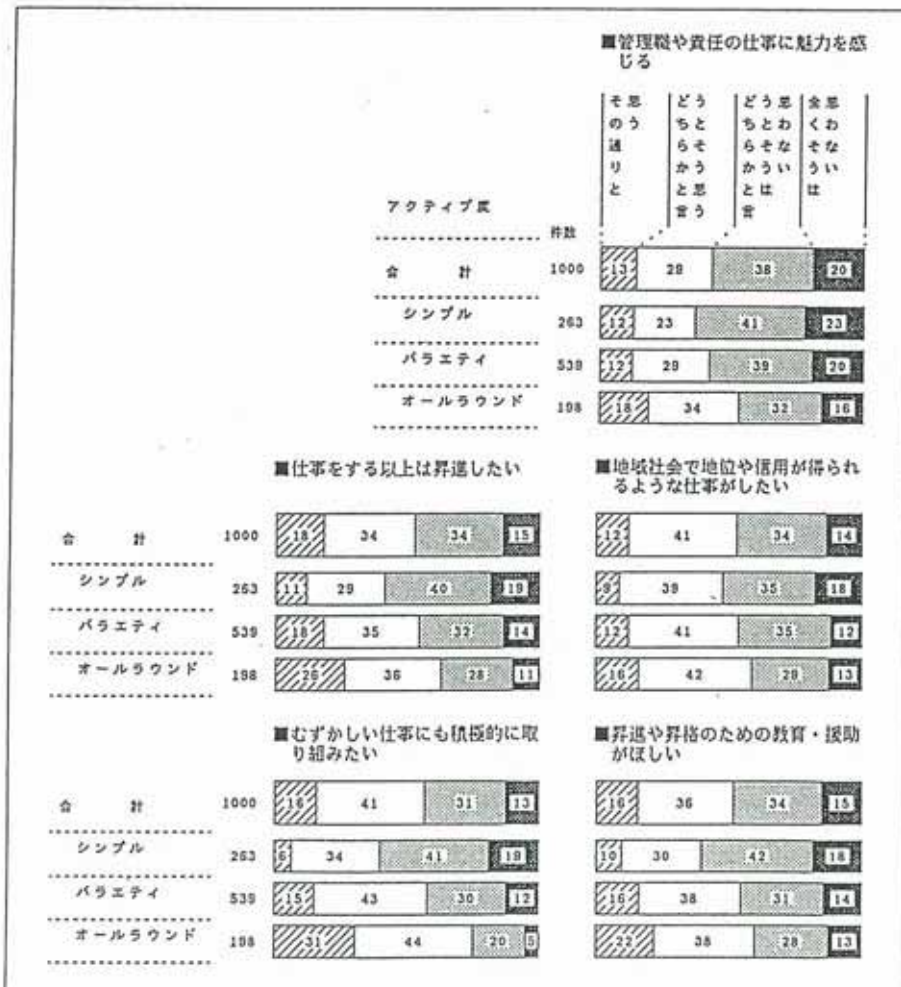
	調査数	既婚	離婚	死別	未婚
	1000	70.0	1.1	4.5	24.3
シンプル	263	70.1	1.3	6.2	22.4
バラエティ-	539	70.1	1.0	5.2	23.7
オールラウンド	198	69.6	1.3	0.6	28.5

4-2 アクティブ度と意識・行動パターン

●仕事への取り組み方

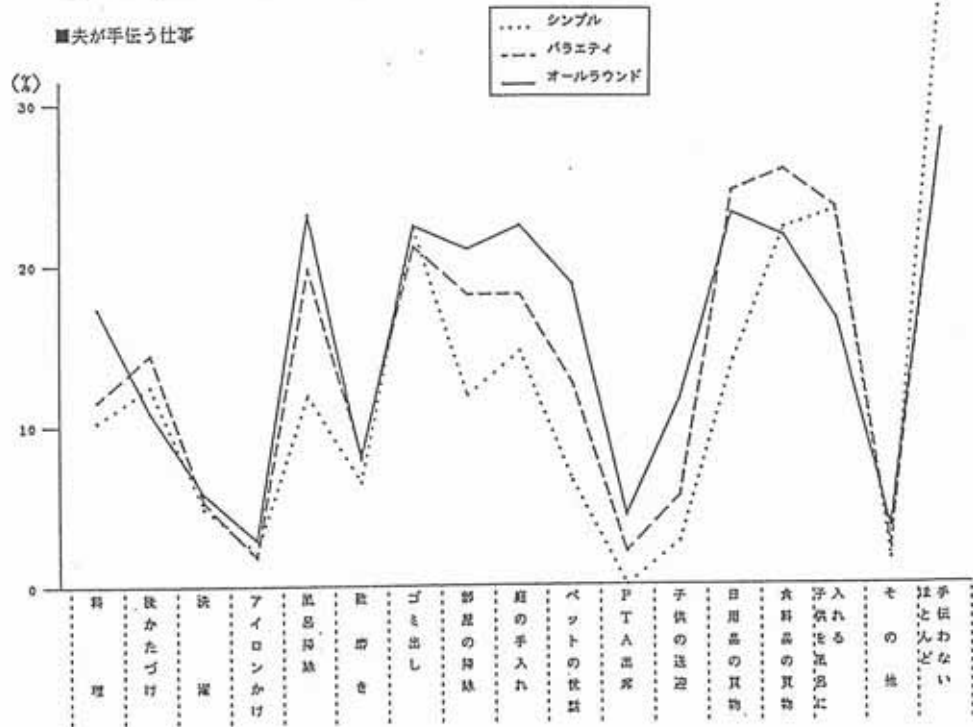
- ・仕事をする以上は昇進したい
- ・むずかしい仕事にも積極的に取り組みたい
- ・管理職や責任のある仕事に魅力を感じる
- ・地域社会で地位や信用が得られるような仕事がしたい
- ・昇進や昇格のための教育・援助がほしい

上記のいずれの項目でも、アクティブ度の高い層ほど、仕事に対して積極的な考え方をする人が多い。



●夫が手伝う家事

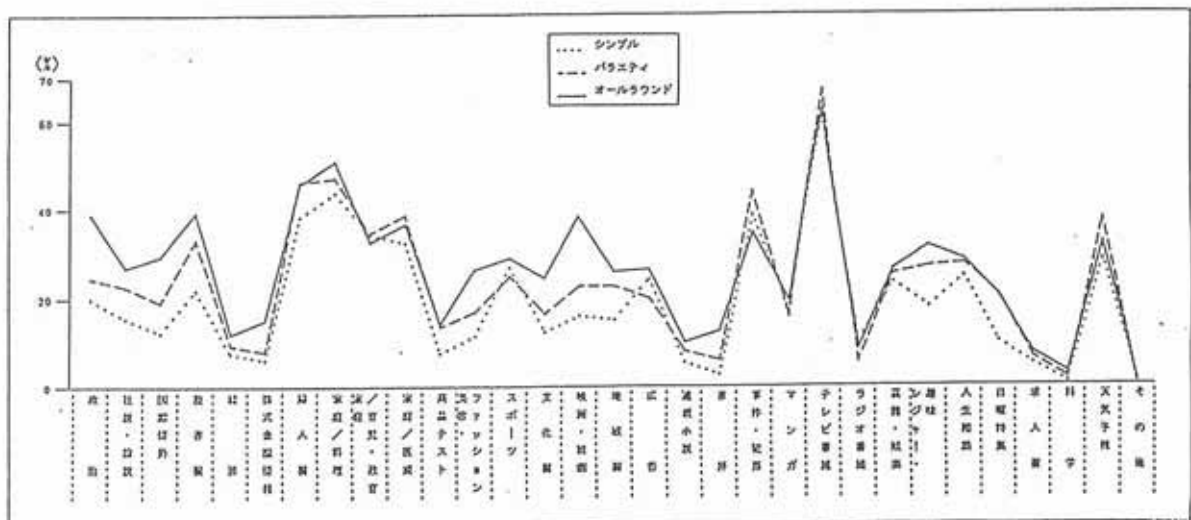
- *アクティブ度の高い女性の夫の方が、家事をよく手伝っている。
- *特に“風呂掃除”“庭の手入れ”“料理”“子供の送迎”などは、アクティブ度の高い人の夫ほど手伝うことが多い。
- *「シンプル」層の夫の3人に1人は“ほとんど手伝っていない”



●関心をもって読んでいる新聞記事

*アクティブ度の高い層ほど読んでいる人が多い記事は

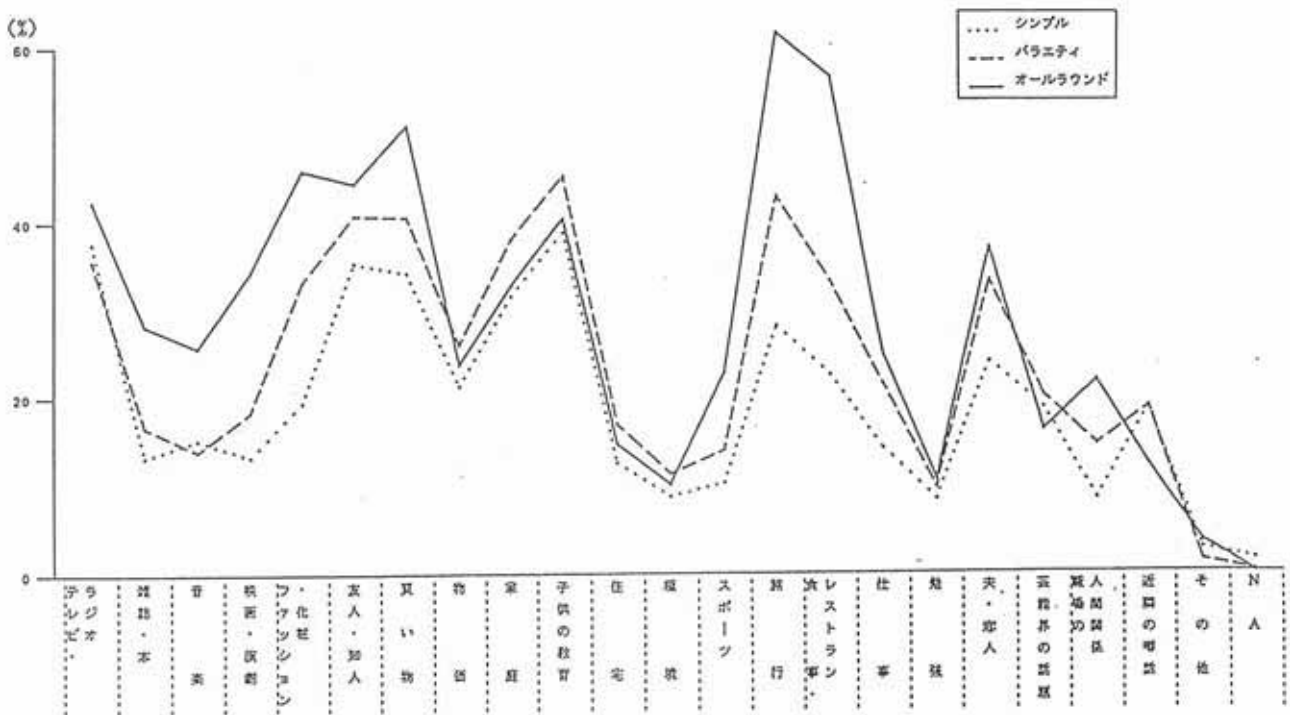
政治、社説・論説、国際情勢、投書欄、株式金融情報、美容・ファッション、文化欄、映画・演劇、地域欄、書評、趣味・レジャー



●友人・知人らと雑談する時の話題

*アクティブ度による差が見られるのは、“趣味・教養・レジャー”などに関する事柄で、いずれもアクティブ度が高い層ほど、話題にしている人が多い。

*特に、レストラン・食事、旅行、ファッション・化粧品、映画・演劇、買い物、雑誌・本などは、アクティブ度による差が大きい。

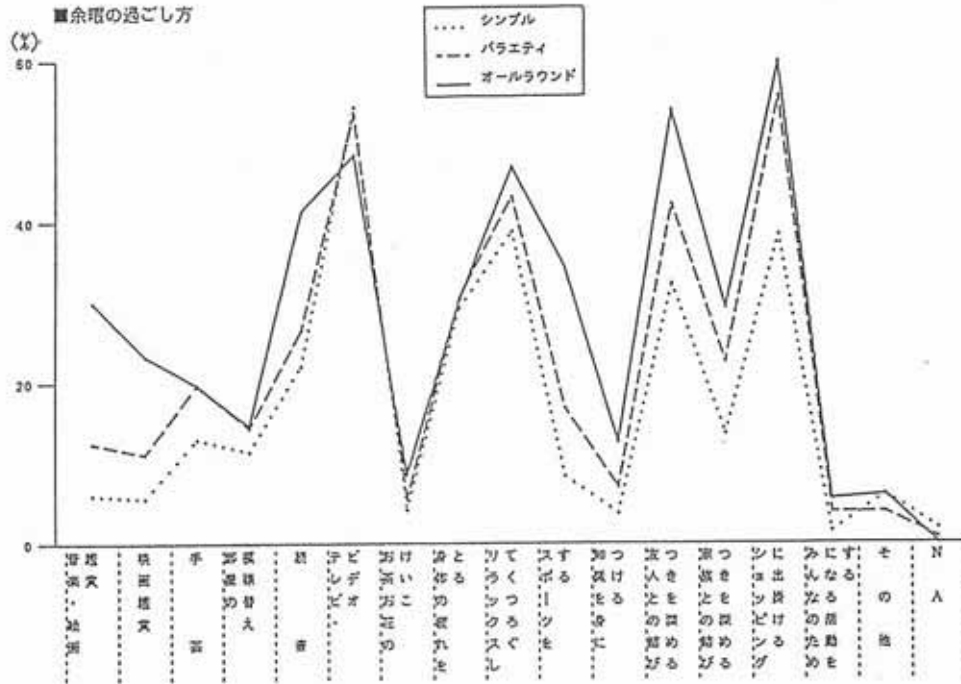


●余暇・社会活動

*アクティブ度の高い人ほど、余暇の過ごし方が多彩である。

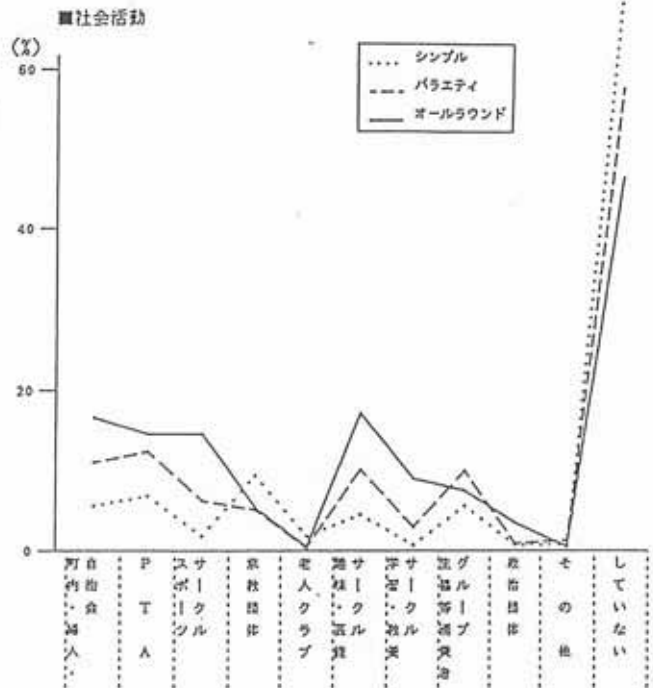
*アクティブ度の高い層ほど、〈ボランティア活動〉をしている（将来してみたい）人が多い。

*アクティブ度の高い層ほど、〈社会活動〉を行なっている人が多い。



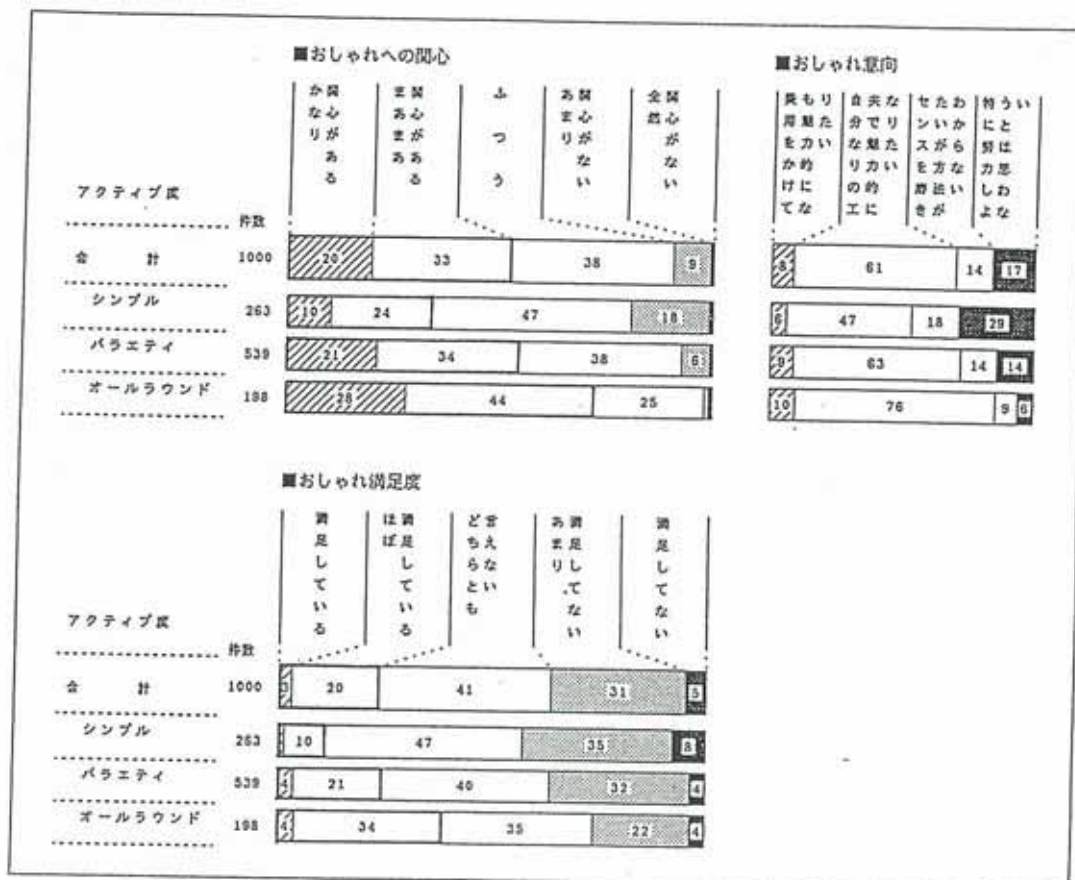
■ボランティア活動

アクティブ度	件数	現在している	現在していないが、たいてい将来は	するつもりはない
合計	1000	47	45	8
シンプル	263	41	55	4
バラエティ	538	48	44	8
オールラウンド	198	53	35	12



●おしゃれ

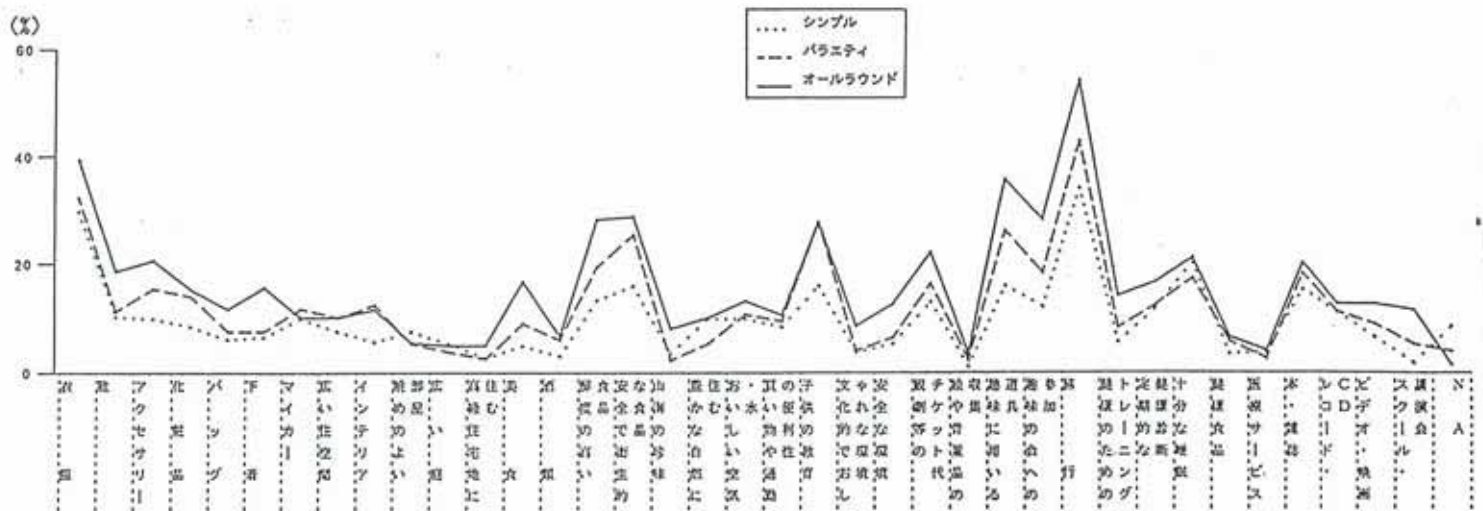
*アクティブ度の高い人ほど、〈おしゃれへの関心〉度が高く、また〈おしゃれ満足〉度も高い。



●ゼイタクしていると思う事項

*アクティブ度の高い層ほど、（ほとんどの項目で）スコアが高く、行動半径の広いことが分かる。（48項目中41項目で「オールラウンド」層がトップ）

*特に、趣味、食事、旅行、おしゃれ、などに関連する事項で、アクティブ度による差が大きい。



5. 結論

アクティブ度36質問項目以外の項目でも、「装う」「家事・家庭」「遊ぶ」「知識・教養」「健康」「食べる」「社会参加」「社会的関心」「買う」といった基本アイテムにかかわる質問項目は、アクティブ度との相関が強い。

つまり、これら9アイテムで示されるような広い領域に関心を持つか否かで分類ができるような、質的な多様性が女性の中に確かに存在する。いいかえれば、9アイテム全体に幅広い関心を有するアクティブな女性層が確かに存在すると言える。

しかし、このような幅広い領域に関心をアクティブに示すには、社会的な知識とエネルギーと自由時間と経済的な余裕が必要である。

このことは、社会的接点の少ない「16-18歳」や体力が比較的低い「60-65歳」にアクティブ度の高いオールラウンド派が少なく、時間、知識、エネルギー、経済的余裕が共にある「19-24歳」「44-59歳」にはオールラウンド派が多いことで裏付けられる。

社会的知識もエネルギーもあるが、時間や経済的余裕に欠けがちな子育て期の「25-43歳」はアクティブ度が中間のバラエティー派が一番多い。

アクティブ度の高い層の夫ほど家事を手伝う場合が多いことも、女性がアクティブであるために、家事のみに没頭しないですむ余裕が必須であることを物語っている。